



国連大学・九州大学・(公財) 国連大学協力会共催シンポジウムについて

概要

保健医療問題が国境を越えて拡がり、発展途上国・先進国の如何に関わらず、一地域の人々の健康と公衆衛生の問題が地球規模の問題へと拡大され、健康・医療・公衆衛生の問題は緊急に解決をすべき人類の平和と発展に不可欠な課題となっています。この問題への認識を高め、その解決に資するため、本シンポジウムを通じて、国連大学、国連大学グローバル保健研究所、九州大学が有するこれらの課題に関する研究成果や知見を社会還元することを目的として、国連大学・九州大学・(公財) 国連大学協力会共催シンポジウムを開催します。

■背景

水、環境、気候変動、砂漠化、病害予防、人権、平和、開発など、一国や一地域では解決できないような地球規模の緊急課題への認識を高め、その解決に資するため、九州大学及び国連大学が有する地球課題に関する研究成果を広く学生・教員・市民・産業界関係者などに社会還元することを趣旨としています。

また、このシンポジウムを契機として、九州大学と国連大学との地球課題についての教育・研究に関する協働活動をより一層推進し、九州地域における研究・教育の国際ネットワークの強化に資することとしています。

■内容

◇ 日時： 2010年7月29日(木) 13:00-17:00

◇ 場所： 九州大学医学部百年講堂
(福岡市東区馬出3-1-1 九大病院地区内)

◇ 参加者数： 学生・教員・市民・産業界関係者など200名程度

◇ 主催： 国連大学、九州大学、(公財) 国連大学協力会

◇ 後援： 外務省、文部科学省、厚生労働省

◇ 事務局： 九州大学国際部

◇ 同時通訳： 日本語・英語

◇ プログラム (敬称略)

総合司会 大喜 雅文 (九州大学大学院医学研究院保健学部門 副部門長)

13:00 開会挨拶 ■有川 節夫 (九州大学総長)

■武内 和彦 (国連大学副学長)

13:20 基調講演 ■尾身 茂 (自治医科大学教授、世界保健機関(WHO)執行理事、
政府新型インフルエンザ対策本部専門家諮問委員会委員長)

「世界の医療と保健—WHOの経験から—」

13:50 基調講演 ■モハメド・サレー・モハメド・ヤシン

(国連大学グローバル保健研究所所長)

「グローバルヘルス 課題と挑戦 —特にアジアの観点から—」

14:20 ショートスピーチ (多様な観点から) 各20分以内

1) 永淵 正法 (九州大学大学院医学研究院 保健学部門 検査技術科学分野教授)
「感染予防—ワクチン戦略に関する提言—」

2) 林 純 (九州大学大学院医学研究院 臨床医学部門 感染環境医学教授)
「B型肝炎からみたアジアとのつながり」

- 3) 樗木 晶子 (九州大学大学院医学研究院 保健学部門 看護学分野教授)
「循環器病の予防-生活習慣病を中心に-」
- 4) 平田 伸子 (九州大学大学院医学研究院 保健学部門 看護学分野教授)
「ジェンダーの視点から見た性感染症」
- 5) 喜多 悦子 (日本赤十字九州国際看護大学学長)
「先進国型医療から途上国のプライマリーヘルスケアへ。
私のたどった旅」

16:00 パネルディスカッション

司会: 加来 恒壽 (九州大学大学院医学研究院保健学部門 部門長)

16:55 まとめ 吉川 弘之 ((公財) 国連大学協力会理事長)

17:00 閉会挨拶 水田 祥代 (九州大学理事・副学長)

【お問い合わせ】

(企画全体について)

九州大学国際部国際企画課

課長補佐 井芹邦昭

電話: 092-642-2135

FAX: 092-642-4242

Mail: intlkhosa@jimu.kyushu-u.ac.jp

(講演内容について)

九州大学大学院医学研究院保健学部門

部門長 加来恒壽

電話: 092-642-6708

FAX: 092-642-6708

Mail: kaku@shs.kyushu-u.ac.jp